

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) とは？

国分高校は、2018 年度文科省から SSH (スーパーサイエンスハイスクール) の指定を受けました。

① SSHとは、国際的に活躍できる科学系人材を育成する文科省による国家事業であり、カリキュラムの開発や大学等との連携による先進的な理数系教育を実施する高等学校等を指定し、活動推進のため経費面を含むさまざまな支援を行うものです。

② SSHの指定を受けている学校は、現在全国で約 200 校 (全高校数の約 4%)、鹿児島県内では本校を含め 4 校です。

③ 国分高校が今回 SSHの指定を受けることができたのは、本校理数科の探究的な活動 (課題研究) が、近年県下随一の成果をあげていること (平成 29 年度理数科課題研究が日本代表として国際大会に出場)、そしてその取り組みを普通科にも拡大し、学校全体の取り組みとしていることが評価されたためです。



先輩からのアドバイス講座 (4/23)



国分高校の SSH実施計画の概要

「霧島から世界へ サステナビリティの視座を持った科学系人材育成プログラムの研究開発」

① サステナビリティとは、「持続可能な社会の創造」の意味で、「人類が生存していくために起こる様々な課題を地球環境・生態系・科学技術・人権・教育・経済活動など幅広い観点からアプローチして解決に導くこと」です。「科学系人材」とは「物事を論理的・科学的な発想で解決していく人材」という意味で理系の生徒だけでなく、文系の生徒にとっても興味深く学べるプログラムです。

② 研究開発の目的は、『霧島』の持つ豊かな地域資源に焦点を当て、生徒が主体的にテーマを設定し、グローバルな視野で探究活動を推進し、持続可能な社会の創造に貢献しようとする科学系人材を創出するためのカリキュラムを開発することで、高校生として社会の課題に積極的に解決する意識を育成したいと考えています。



大学入試への対応

① 平成 32 年度から始まる大学入試では知識だけではなく「①論理的に考え、判断し、それを表現する力、②課題を発見し、見通しを立てて多様な人々と協働しながら解決する力」を評価できるよう改善されます。

② そのため、調査書には高校の学習・活動履歴として課題研究や集団討論・プレゼンテーションなどを必ず記載し、多面的な評価を行います。さらに、入試が多様化し、これまでの AO 入試、推薦入試はそれぞれ総合型選抜、学校推薦型選抜として両者合わせた入学定員が 3 割に拡大されます。

③ 新しい入試で求められるのは「主体的に学び、課題を解決する力」であり、これはまさに、探究活動で学び、磨かれていく力です。その意味で、SSHによる課題活動の充実が生徒の進路実現に大変有利に作用します。また SSH校に推薦入試の枠を広く開いている大学も少なくありません。

④ 国分高校では、SSH指定を絶好の機会として、生徒たちが楽しく学びながら、多面的な力をつけ、進路実現を果たしていくように全力で取り組んでいきます。



